

編集委員会

編集委員長：船戸弘正
編集委員：狩野修
村上義孝
大塚由一郎
田中京子
編集顧問：中野裕康

松田尚久 三上哲夫
内藤篤彦 南木敏宏
佐野厚 高橋寛
津熊久幸

(ABC順)

編集後記

本誌の編集委員は任期3年、再任1回までという取り決めとなっており、10名の編集委員のうち2023年4月から新たに4名が編集委員に就かれた。昨年10月に新たに編集委員になられた方を含めると10名中6名がフレッシュな編集委員である。私自身も昨年10月に編集委員になったばかりなのに編集委員長になってしまい戸惑うばかりであるが、本誌の向上に貢献できるように微力を尽くしたい。中野裕康前編集委員長が和文誌、英文誌のオンライン化をはじめ多くの改革をなされたことで、収支面での懸念は解消された。科学出版を巡る環境が激変している中で、本誌の存在意義や目的を再定義していく必要があるだろう。

その点では、医学会賞受賞記念講演要旨として3論文を掲載できたことは大変喜ばしい。2022年度の基礎医学、社会医学、臨床医学分野を代表する本学の研究成果である。本誌および東邦医学会としては本学発の研究成果の顕彰を通じて本学の研究活性化に貢献することもミッションである。

研究の活性化という点では、やはり研究者同士の対面でのコミュニケーションは不可欠である。ZoomやメールやTwitterでは無難な情報のやり取りしかできない。コロナの影響が徐々に収束しており2022年からは国内外で現地開催の学会が再開されるようになり、私自身、沖縄、京都、神戸、イスタンブール等の学会に現地参加する機会があった。本編集後記を執筆時の数日前までイスタンブールの研

究会に参加していたが、時間意識の適当さや喫煙率の高さ、食事など様々な文化的違いに触れて、体調を崩してしまった。ターキッシュエアラインズの帰国便も大幅に出発が遅れて乗り継ぎ便に間に合わずソウルで困ったが、そもそも海外旅行というのはある程度このようなトラブルを織り込まないといけないのだ。

ただ、本誌編集長としての任期3年の間にはできるだけ穏やかに本誌と旅していきたいものである。

(船戸弘正)

東邦医学会雑誌 第70巻 第2号

令和5年6月1日発行

編集兼
発行人 船戸弘正

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
東邦大学医学部2号館M1階 医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3764-1642

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎